

現代経営学応用研究(日本経営品質賞)

担当：長友隆司（関西経営品質賞制度委員、日本経営品質賞元指定講師）

1. 講義の目的

企業評価法としての経営品質をご理解いただきます。そのために企業の実際の経営品質報告書をもとに模擬的な審査プロセスをご経験いただき、評価を定め、対象企業様への評価結果のフィードバックを行っていただくことを通して、企業の経営実態をどのように評価し経営革新をどのように誘発していくのかということについてご理解をいただきます。

2. 事前にご準備いただくもの

①顧客価値経営ガイドライン（2,200円）

②株式会社 KEC 経営品質報告書（1,100円）いずれも関西生産性本部 関西経営品質賞事務局 揚倉までご用命ください。

関西生産性本部 関西経営品質賞事務局 揚倉 弘介

メール：agekura@kpcnet.or.jp 電話：06-6444-6464

事前に目を通しておいて下さい。詳細については第1回講義でご説明をいたします。

3. スケジュールと実施内容

本講義はすべてオンラインで実施します。

以下、各回の講義内容と簡単なスケジュール等です。

第1回:11月10日(金)

① 経営品質の概略についてご説明いたします。

② 経営品質の審査プロセスについてご説明いたします。

時間) 18:20より19:50

③ 今回、経営品質報告書をご提供いただいた KEC 様の企業概要並びに 2017 年度関西経営品質賞ゴールド賞受賞理由について KEC 経営企画部長様ならびにご担当者様よりご説明をいたします。

時間) 20:00~21:30

④ 次回までの課題

KEC 様経営品質報告書をご一読ください。ご一読いただいたうえで、KEC 様が事業を成功に導いている好循環（グッドサイクル）とビジネスモデル上の特長について、個

人の見解をおまとめください。またその見解から KEC 様の今後の成功あるいはよい事業の循環を回していくうえで確認しておきたいことを質問としてまとめてください。次回講義にてグループを編成し、グループとしての見解ならびに質問をまとめていただきます。質問をしていただく趣旨は、これから評価を行う上で確認しておきたいことを把握し、最終評価に反映していただくためです。質問はとりまとめて相手企業に事前に通告する必要がありますので、前々日までにご提出をお願いします。

第2回:11月17日(金)

① 審査チームの編成

5名程度で審査チームを編成していただきます。チーム編成は事務局よりいただく名簿にもとづき編成をさせていただきます。編成内容は当日までにみなさんにお知らせをさせていただきます。編成後、チームリーダーを決めてください。

② 審査仮説の合議

審査チームの編成が終わったら、前回から各自でお考えいただいた『「KEC 様が事業を成功に導いている好循環（グッドサイクル）とビジネスモデル上の特長」について、相互発表を行い、グループとしての統一見解を作成してください。グループでの模擬審査内容は、パワーポイントにまとめていただき、発表できる形にしてください。以降の講義においても同様です。

③ KEC 様への質問

模擬審査を行っていくうえで相手企業様に確認しておきたいことについて質問をしていただきます。質問については前々日までにご提出いただいたものを取りまとめて、相手企業に事前に通告してあります。相手企業から回答をいただきますが、追加質問等を含めて質疑を行っていただきます。

④ 次回までの課題

今回、行ったグループディスカッション、相手企業との質疑をもとにして、6つの実践領域についての評価を検討しておいてください。書式等については問いませんが、各実践領域で評価できること、今後の成功のためには改善を要すること、評価水準（S、A、B、C）を考えておいてください。

第3回:11月24日(金)

① チーム合議

課題としてお考えいただいた個別評価をもとに、グループとしての評価をまとめていただきます。ご評価いただく「実践領域」は全部で6つありますが、時間に限りがありますので、今回の模擬審査では「総合評価」「リーダーシップ」と「組織能力」の3つにつ

いてチームとしての評価をまとめていただきます。時間内に取まらなかったものについては、次回までにグループ内で分担を決めて完成させておいてください。

② 審査結果の提出

各審査チームでおまとめをいただいた最終審査結果（フィードバックレポート）は次回講義日の3日前までにご提出をいただきます。講義日2日前に対象企業であるKEC様に審査内容をお届けします。

次回、模擬審査内容について発表をお願いします。

③

第4回:12月1日(金)

① 最終合議

実践領域についての評価ならびに総合評価について、グループとしての最終合議を行っていただきます。

② 審査結果の発表及び講評

対象企業様から経営トップをお招きして、審査結果についてのご発表をお願いします。評価結果について、相手企業側から確認のご質問などがあると思いますので、自チーム審査での見方、考え方などをご説明していただきます。

③ 講評

模擬審査内容について、相手企業様のトップあるいは経営幹部の方からご講評や経営品質受賞後の取り組みなどについてお話を頂戴したいと考えています。

以上が講義全体の大まかな流れです。具体的な進め方についてはそれぞれの講義で詳細をご説明いたします。

4. 評価

①グループの合議審査内容、発表内容などをもとに評価を行います。

②最終審査として対象企業様に対してご発表をいただきますが、その際の企業様からのご評価も加味して評価を行います。

以上